



うんぜん



Happy Smile!

市民講座UNZEN『あかちゃんとママのためのハッピースマイル講座』で行われた「音で遊ぼう♪パート1」の様子
参加者の皆さんは、赤ちゃんと一緒に、音に合わせて歩いたり、ゲームをしたりと、楽しい時間を過ごしました。

9 月号
2011 September

お困り のときは ご相談 ください

ごみ出しで

高齢者等
戸別収集支援事業

特集

広報

うんぜん
vol.21

9月号
2011 September

CONTENTS ~もくじ~

- 02 [特集]高齢者等戸別収集支援事業
- 07 東日本大震災関連情報
- 08 うんぜんクリック(観光情報)
- 10 あなたの声を市長に届けます ほか
- 11 嘱託職員募集 ほか
- 12 うんぜんニュース
- 14 島原半島ジオパークを楽しむために
- 15 がんばらば国体通信 ほか
- 16 はびねす通信
- 17 消費生活センターからのお知らせ
- 18 雲仙じげもん便り
- 20 市民講座UNZEN
- 22 まちの話題 My town topics
- 24 食事はおいしく楽しく健康的に!
- 25 よく眠れていますか?
- 26 集団健診日程 ほか
- 27 子育てホットステーション
- 28 皆さんからのご意見・プレゼント ほか
- 30 市からのお知らせ
- 32 情報コーナー
- 34 スクさんの日々・求礼郡便り
- 35 市長コラム・うんぜん健康レシピ ほか
- 36 うんぜんくらしのカレンダー

表紙のはなし



愛野町公民館講堂で行われた講座取材しました。講座名どおり、楽しい笑顔があふれていました。途中からの参加も可能ということですので、詳しくは、生涯学習課(☎37-3113)まで。

高齢者や障がいのある人だけで生活する世帯などでは、家庭から出るごみを自分で収集所まで持って行くことが困難な場合も多いのではないのでしょうか。

そこで、市では5月から、対象となる人のご自宅までごみを集め（戸別収集）に伺い、併せて声かけなどの安否確認を行う事業を実施しています。

事業の詳しい内容や申請方法、すでにご利用いただいている皆さんの声などをご紹介いたします。



高齢者等 戸別収集 支援事業

この制度を利用するためには、市への申請と審査会による認定が必要です。

対象者

次の①～④のいずれかに該当し、**自分でごみを持ち**

出すことが困難で、市が戸別収集する必要があると認められる世帯が、対象となります。

- ① 要介護認定を受けている65歳以上の高齢者のみで構成する世帯
- ② 身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者のみで構成する世帯
- ③ ①や②に該当する者のみで構成する世帯
- ④ ①～③に類する世帯で、市が必要と認める世帯

対象となるごみ

一般家庭から出されるごみ（可燃物、不燃物、かん、びん、ペットボトル、有害ごみ）
※粗大ごみは除きます。

申請方法

申請書に必要事項を記入の上、環境政策課または福祉事務所（福祉課）、各総合支所に提出してください。

申請書は、市役所や各総合支所にあるほか、包括支援

センターや居宅介護事業所、ケースワーカー、民生委員、自治会長にも配布していますので、お尋ねください。

申請受付期間

申請は、**随時受け付けています**。毎月末までに受け付けた分について審査を行います。**認定されると、申請のあった翌々月から戸別収集を開始**します。

（例）9月末までの申請分が認定されると、11月から収

集を開始します。

その他

住所や世帯構成などに変更があった場合などは、変更届を提出していただきます。その後、再度調査し、認定が却下かを決定します。

問い合わせ

福祉課 高齢者福祉班
環境政策課 廃棄物対策班

☎ 38-3111

☎ 36-2500

実際の支援までの流れ

提出された申請書をもとに、福祉課と環境政策課で一次審査を行います。このとき、訪問による調査も行います。



一次審査の結果をもとに、審査会を開き、認定できるかどうかの審査・決定を行います。



審査会の決定に基づいて、認定か却下かの「決定通知書」を、申請者へ送付します。



認定となった場合、収集担当者が訪問し、収集日や時間についての打ち合わせを行います。（収集は、原則週1回）



認定を受けた人は、打ち合わせで決定した収集日までに、対象となるごみを分別し、袋に入れておいてください。



収集担当者が訪問し、対象となるごみすべてを収集しながら、声かけなどの安否確認を行います。

利用者の声



尾崎 仁さん
(国見町)

足腰が弱ってみると、特に感じますけど、周りの多くの人に助けていただきながら、今日の命を生きています。なかなかと思います。中でも、ごみ出しのように、重いもの、前に抱えて歩くというのが、とてもつらいんです。それです。今までは、近くの知り合いの人にお願いしていたんですけど、その人にはほかにもお願ひすることが多くて、何か一つでも負担を減らせればと考えていたんです。そんなときに、この(戸別収集)制度があると聞きました。早速申し込みました。

「認定されましたよ」と連絡を受けて、打ち合わせ

に来られたときに、収集担当のかたを紹介されたんですけど、それ以来とても親切にいただいています。ごみを収集してくださるのはもちろんなんですけど、必ず声をかけていただいています。今では毎週の収集日が来るのが楽しみです。できるだけがすがしく迎えようと、身支度を整えたりして、生活にもはずみが出てきました。うれしいご縁ができたなあと、喜んでいきます。そんなご縁が広がればと思います。ご近所の人なんかにも紹介しているんですよ。収集担当のかたは大変でしょうけど、ぜひ、多くの人に利用していただきたいですね。私みたいな助かる人が、たくさんいらつしやると思っています。こんな良いことを思いついていただいて、本当にありがとうございます。



尾首 玲子さん
(愛野町)

視覚障がいのある私は、ごみの搬出の問題が、何よりの悩みごとでした。以前出席した、市長さんとの意見交換会でも、そのことを述べましたが、市民の声として受け止めていただき、実現していただいたことを、大変嬉しく思います。制度が始まると聞いたときには、涙が出ました。

タイミングが合わなかったりと、定期的にごみ出しするのは難しいんです。私も、いよいよ民間の収集業者に、有料でも頼まないといけないなど思ってたところなんです。この制度を利用できるようになって、大変助かっています。毎週来ていただく収集担当のかたもとても親切で、ごみの収集だけでなく、あいさつから始まって、「お元気ですか」という声かけまでしていただいています。それだけで元気になります。今では、収集に来られるのが、楽しみになっていますよ。

ほかの(戸別収集などの事業を行っている)市の人から、「よかねえ」って、うらやましがられています。私も感謝の気持ちでいっぱいです。雲仙市内の障がいのある人や高齢者の皆さんには、ぜひ利用していただきたいですね。

実際にあった事例

声をかけても、返事がない
すぐに連絡し、無事を確認

7月の出来事でした。いつものようにごみの収集に伺い、玄関先から『お元気ですか?』と、何度となく声をかけました。

しかし、中からは、ラジオの音は聞こえるものの、返事がありませんでした。在宅の様子でしたが、返事がなかったため、市役所の関係課へ至急連絡。市の担当者から、登録緊急連絡先へ連絡を取ってもらい、現場へ来ていただきました。

駆けつけていただいた人とともにご自宅の中の様子を伺うと、ご本人は疲れて休まれているだけのように、何事もなく、無事を確認することができました。

何もなくて良かったのですが、安否確認の重要性を感じた一日でした。



収集担当者(嘱託職員)の吉本さん(左)と千葉さん

私たちが、収集とお声かけに伺います。
お困りのかたは、ぜひご利用ください。
(収集担当者は、必ず身分証を携帯しています)

リサイクルストックハウスがより利用しやすくなりました

市では、リサイクル推進事業として、リサイクルストックハウスにおける「資源ごみ」の回収を行っています。

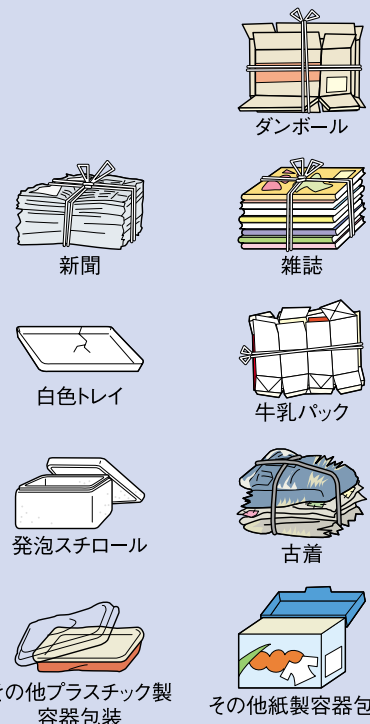
今年度、国見地区と小浜地区に1カ所ずつ、計2カ所増設し、8月から、第1・第3日曜日の午前中に開設するストックハウスと第2・第4日曜日の午前中に開設するストックハウスを交互に設置することにより、市民の皆さんが、より一層利用しやすくなるように改善しました。隣接する地区のストックハウスもご利用いただき、リサイクル推進にご協力ください。

【市内のストックハウス】※南串山地区の分け兵衛ハウスは除きます

地区名	第1日曜日	第2日曜日	第3日曜日	第4日曜日
国見土黒地区	○		○	
国見神代地区(新設)		○		○
瑞穂地区	○		○	
吾妻地区(※)		○		○
愛野地区	○		○	
千々石地区		○		○
小浜北野地区(新設)	○		○	
小浜南本町地区		○		○

◎詳しくは、環境カレンダーでご確認ください。

※吾妻地区では、試験的に平日(毎週水曜、午前9時～午後5時)も開設しています。



東日本大震災関連情報

派遣活動を終えて



健康相談風景(北塩原村のペンションにて)

派遣期間

第4陣(6月15日～21日)

第5陣(6月20日～26日)

派遣先

福島県浪江町役場の支援のため、福島県二本松市を拠点として、猪苗代町、福島市、桑折町、北塩原村を巡回派遣職員数

第4陣(3人)、第5陣(3人)

活動内容

浪江町の住民が二次避難している旅館・ホテル、ペンションや仮設住宅を保健師らが訪問し、健康相談

県内の広範囲にわたり、二百数十カ所もの避難所があるとのことで、避難住民の

移動の把握が困難で、手続きの台帳を訪問時に書き換えるなど、震災から3カ月ほど経った今でも、行政は大変な混乱状態であることがうかがえました。

多くの避難所を訪問しましたが、それぞれのホテルや旅館。ペンションでは、オーナーの気配りや施設面など、待遇にも違いがあり、公平な対応となっていないことが気がかりでした。

第4陣、第5陣それぞれ一週間の支援活動でしたが、全体的に住民の皆さんは、「避難」という面では、一応落ち着いた状態のように見えましたが、今後のことについては、何も計画が立てられないような状態で、希望が見えないような状況ではないかと感じました。

避難者の皆さんは、地震と津波による人的・物的な被害に加え、見えない放射能の被害など、揃って将来の不安を口にされており、これまでの避難支援とあわせ、今後は、「復興」に向けての支援と協力が必要であると感じました。

被災地から お礼の手紙が 届きました

東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市に、雲仙市から、市内の小・中学生の応援メッセージを添えた救援物資(野菜など)を送っていました。そのメッセージを受け取った被災地の吉田さんから、お礼の手紙が届きましたので、紹介します。

手紙には、被災地の様子や感謝の気持ちが綴られています。その内容に、一日も早い復興を祈るばかりです。



被災した気仙沼の様子(平成23年5月15日撮影)

雲仙市立吾妻中学校のみなさんへ

はじめまして。

先日、長崎県雲仙市のみなさんから励ましのメッセージが書かれた、ジャガイモや玉ねぎなどの野菜が、宮城県気仙沼市の私達の所に届けられました。

「がまだせ!」「自分がやれることやろうと思います。」「がんばって下さい」みなさんの一生懸命書いて下さった、気持ちが込められた1枚1枚のカードを見ながら嬉しくて涙が流れてきました。

ありがとうございました。

みなさんから届けられたメッセージは、野菜を分けるときに、地域のみなさんと回覧し、笑顔になりました。

「ありがたいねえ〜」皆が口ぐちにその言葉をつぶやきました。
〜(中略)〜

みなさん、おいしい野菜と優しく励ましになるメッセージありがとうございました。

私たちの地域もみなさんの優しさと励ましを支えにして毎日一生けん命、命を生きたいと思います。ありがとうございました。

5月11日に電気。5月23日に水道が復旧しました。電話やインターネットはもう少し先になりそうですが、震災から80日が過ぎ少しずつ生活もしやすくなってきています。

瓦礫島の真ん中で今日も精一杯「命」を生きています。本当にありがとうございました。

いつか、気仙沼の地に遊びにきてください。

宮城県気仙沼市

吉田 千春

うんぜんクリニック

観光物産まちづくり推進課 (☎38-3111)

雲仙音楽祭「MOVE UNZEN!」
～第1回 雲仙マーチングクリニック【記念演奏会】～

【ゲスト】 石川直、精華女子高等学校吹奏楽部、
雲仙市立小浜中学校吹奏楽部

【出演団体】 大村市立桜が原中学校吹奏楽部、
雲仙市立吾妻中学校吹奏楽部、諫早市立有喜小
学校 brassバンド部、有喜少年少女 brassバンドクラ
ブ ほか

【クリニック講師】 山崎昌平、藤重佳久、森下晃英、
木村美千子、三好直英、樋口亜紀、内村有希、原優
子、上村光夫、森下瑤子

日時 10月2日(日) 開場:正午、開演:午後1時

会場 ハマユリックスホール(南串山町)

チケット(前売券)

大人1,000円、中高生500円、小学生以下無料

※当日券200円増

チケット発売所

雲仙音楽祭実行委員会(市観光物産まちづくり推
進課内)、市教育委員会生涯学習課、(社)雲仙観
光協会、小浜温泉観光協会、ハマユリックスホール、
国見町文化会館(まほろば)

【問い合わせ】

雲仙音楽祭実行委員会

☎0957-38-3111

JRウォーキング

龍馬とゆかりがある「鍋島邸」や「神代小路」
の街並みを歩くウォーキングが行われます。
また、ゴール地点では「くにみの日」も実施さ
れます。参加費は無料。お友だちやご家族と
気軽に参加しませんか?

日にち…9月23日(祝)

スタート:島原鉄道「神代町駅」

(スタート受付…8:30～11:15)

※駐車場はありませんので、公共
交通機関をご利用ください。

ゴール:多比良港「くにみの日」会場
(ゴール受付…15:00まで)

事前申込不要。当日、受付時間
までにスタートにお越しください。

【問い合わせ】

JR諫早駅(☎0957-22-3458)

月～金(祝除く)9:00～18:00



鉄道跡の道の両側から木々が生い茂り、緑から漏れる光りが心地よい場所です。

今月のワンショット ～緑のトンネル～(小浜町)



【写真提供】雲仙市観光協議会(平成22年9月24日撮影)

60歳から69歳までの 入館料割引を実施します。

70歳未満の皆さまのご要 雲仙市民限定特別企画
望にお応えして、期間限定で、
入館料を200円に引き下げ **期間限定** 9/1～12/31
ます。

60～69歳
市民入館料

~~525円~~

200円

※年齢のわかる書類をお持ちください。

温泉効果で健康に長生き

【入浴時間】

午前7時30分～午後10時

(受付終了・午後9時30分)

国民
宿舎

望洋荘

☎0957-74-3141



テッラ・マードレ ジャパン in UNZEN ②

実は、雲仙市がスローフードの「聖地」と呼ばれていることをご存じでしょうか。

雲仙市は、2つの「味の箱舟」と、日本で唯一の「プレシディオ」が存在する土地として、スローフードの世界では大変有名な場所です。イタリアで行われる「テッラ・マードレ」でも、スピーチや事例発表などを行い、生産者とその食材は、高い評価を得てきました。今月は、そんな2つの食材を紹介します。

雲仙こぶ高菜



雲仙こぶ高菜は、アブラナ科の野菜の1つである高菜の地方品種で、成長すると葉茎の部分に突起ができる珍しい形状の野菜です。

もともとは、吾妻町で種苗店を営んでいた峰眞直氏が、1947年ごろから、こぶ高菜を自ら改良・選抜して、独自の地域種、地方品種として育成したものでしたが、いつしか生産されなくなり、人々の記憶から消えようとしていました。

そんな中、地元の有機農業家・岩崎政利氏が、自分の畑に、かつて栽培したことのある雲仙こぶ高菜が何本か自生しているのを発見。峰氏の妻のキミエ氏が原種の種子を保管していたこともあり、地域独自の大切な野菜として復活の取り組みが本格化していき、現在は雲仙市伝統野菜を守り育む会のメンバーにより、地域の宝ものとして引き継がれています。

エタリの塩辛



エタリというのはカタクチイシの地方名で、橘湾では、かつて大量に水揚げされ、小浜町と南串山町では、冬場の保存食としてエタリの塩辛が伝えられてきました。作り方は、新鮮なエタリを塩とあわせ樽に入れ、稲ワラをかぶせ、重石をして熟成させます。「白粉が吹いて、香(か)ばしかにおいのしてくる」と、食べごろだと言われています。

そんなエタリの塩辛も、さまざまな理由で、だんだんと作られなくなりましたが、一番大きな原因は、漁業を取り巻く環境の変化によって、原料となるカタクチイシが、簡単に入手できなくなったためといえます。

このままでは、エタリの塩辛が地域から消えてしまう、そんな危機感を持った漁業者たちを中心に、平成18年1月「エタリの塩辛愛好会」が発足し、塩辛の広い普及と塩辛作りの伝承を目的に活動中しています。

★キトラス



Food Museum of Nagasaki,Sasebo,Unzen "kitorasu"

長崎・佐世保・雲仙 ゆめ市場

キトラスにいつも来とらす

物産販売、お食事処がクローズアップされがちなアンテナショップキトラスですが、観光ツアーデスク『キトラスツアー』もしっかり営業しています。

しかもそこには、雲仙市出身の松永恵子さんが常駐して、雲仙市への旅行の案内やおすすめスポットの紹介などに携っています。『キトラスツアー』では、雲仙、長崎、佐世保市だけでなく福岡市の旅行の手配もできますので、お気軽に声をかけてください。



松永恵子さん

第3回

フラっとハワイアンフェスティバル in OBAMA 2011

フラ・ガールやハワイアンバンドが全九州から集まり、小浜の夕日をバックに共演。小浜温泉街がハワイアンに包まれます。

日時…9月9日(金)午後6時～8時30分
9月10日(土)午前11時～午後8時30分
会場…小浜マリンパーク(雨天時は小浜公会堂)

【問い合わせ】

小浜温泉観光協会(☎0957-74-2672)



ウラどおり探検隊《吾妻編》

吾妻町にある、雲仙市役所の周辺約3km程度を散策します。

今回のテーマは「探す」。

秋の気配や、車では見落としがちな吾妻の魅力を、一緒に探してみませんか？

日時…9月19日(月・祝)午前10時出発
集合場所…雲仙市役所正面玄関
散策所要時間…1時間30分程度
参加費…中学生以上/500円、小学生/300円
(保険料含む)

【問い合わせ・申し込み】

雲仙市観光ガイド協会(☎0957-78-5506)



※実際の箱とは、異なります

雲仙市では、ホームページによる「市長へのメール」や「市政への提言」、ファックスや郵便など、さまざまな方法で、市政に対して市民の皆さんが日ごろ感じているご意見・ご提案などを、一年を通して受け付けています。

しかし、ご意見やご提案をもっと気軽に、直接市政へ届けられるよう、9月を強化月間として、ご意見やご提案の受け付けを実施します。

9月1日から市内公共施設などに提案箱を設置しますので、皆さんのご意見やご提案を記入の上、投函してください。

いただいたご意見やご提案は、市の関係する部局で市政に反映できるかどうかを検討し、より良いまちづくりのために役立ちます。たくさんのご提案をお待ちしています。

※原則として、ご意見やご提案に対する

あなたの声を市長に届けます ～まちづくり提案箱～

個別の回答は行いません。ただし、お名前などの個人が特定できる部分やプライバシーに関わる部分を除き、市広報紙やホームページなどに掲載させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※他人の誹謗中傷や政治・宗教に関する意見などは、受け付けません。

○設置場所

国見町：国見総合支所、雲仙市図書館（国見町文化会館）、国見農村環境改善センター、国見総合福祉センター、遊学の館（遊学の里）

瑞穂町：瑞穂総合支所、瑞穂町公民館、瑞穂ヘルシー会館、みずほすこやかランドふれあい会館

吾妻町：市役所（玄関）、吾妻町ふるさと会館、吾妻体育館

愛野町：愛野総合支所、愛野町公民館、愛野保健福祉センター

千々石町：千々石総合支所、千々石町公民館、千々石老人福祉センター 橋荘

小浜町：小浜総合支所、雲仙出張所、小浜老人福祉センター、公立新小浜病院、リフレッシュセンターおばま、雲仙お山の情報館

南串山町：南串山総合支所、ハマユリックスホール、南串山保健福祉センター

○受付期間

9月1日（木）から9月30日（金）まで

○問い合わせ

政策企画課 広報班 ☎38-3111

農業出前講座

農業学習の出前（お届け）を行います

〔問〕 農林水産課 ☎38-3111

農林水産課の業務について、市民の皆さんが知りたいことや聞きたいことを、職員が直接出向き、お話をします。

申し込みできるのは？

原則として、市内に在住している10人以上で構成された、団体やグループなどです。

出前講座の内容は？

次の出前講座メニューから選んでください。

①有害鳥獣による農作物被害対策について②農業関係に関する補助事業について③耕作放棄地について④認定農業者制度について

開催時間と場所は？

平日の午前9時から午後10時までの間で、2時間以内です。場所は、市内に限ります。

会場の手配は？

会場の手配や準備、受講者への周知などは、主催者でお願いします。

講師料は？

講師料は、一切無料です。

申し込み方法は？

出前講座を希望する団体やグループの代表者は、開催しようとする日の2週間前までに、出前講座申請書に必要事項を記入し、農林水産課へ申し込んでください。その後、日程などの調整を行います。

※特定の政治・宗教または営利を目的とした催しなどについては、職員を派遣できない場合があります。また、出前講座には、派遣職員の説明に対する質問や建設的な意見交換を含みますが、学習の場であり苦情を述べる場ではありませんので、ご理解ください。

国体準備室嘱託職員

勤務内容 各種事務・事業運営の補助(公用車運転業務あり)

募集人員 1人

勤務場所 教育委員会 国体準備室(千々石庁舎)

雇用期間 10月1日～平成24年3月31日

勤務日 月～金曜日(祝日、年末年始の休日を除く)

勤務時間 午前8時30分～午後5時15分

報酬 月額151,600円(通勤手当制度あり)

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険

応募資格

- ①市内に住所を有する18歳以上65歳未満の人(平成23年4月1日現在)
- ②競技スポーツ経験者で、長崎国体やスポーツ事業運営に関心のある人
- ③パソコン操作(文書作成、表計算、画像処理など)ができる人
- ④スポーツ大会などの準備作業、現場作業などができる健康で明るい人

申込方法 国体準備室や人事課、各総合支所市民生活課に備え付けの「嘱託職員申込書」に写真を貼り、必要事項を記入の上、申し込んでください。(郵送可)

申込期限 9月20日(火)午後5時15分までに必着

選考方法 作文、面接

選考日・場所 申込者に後日、直接連絡します。

問い合わせ 国体準備室(☎37-3113)

埋蔵文化財発掘調査業務嘱託職員

〈文化財調査員(学芸員)〉

勤務内容 埋蔵文化財の発掘調査全般

募集人員 1人

勤務場所 雲仙市歴史資料館 国見展示館

雇用期間 10月1日～平成24年3月31日

勤務日 月～金曜日(祝日、年末年始の休日を除く)

勤務時間 午前8時30分～午後5時15分

報酬 月額204,700円(通勤手当制度あり)

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険

応募資格

- ①22歳以上65歳未満の人(平成23年4月1日現在)
- ②学芸員(考古学専攻)の資格を有する人
- ③パソコン操作(文書作成、表計算など)ができる人
- ④普通自動車免許を有する人

申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、申し込んでください。(詳しくは、お問い合わせください)

申込期限 9月15日(木)午後5時15分までに必着

選考方法 実技、面接(実技試験〔遺物実測〕の道具は、持参してください)

選考日 申込者に後日、直接連絡します。

選考会場 市教育委員会(千々石庁舎)(予定)

申込書提出先・問い合わせ

〒854-0492

雲仙市千々石町戊582番地

雲仙市教育委員会 生涯学習課 文化財班

(☎37-3113)

嘱託職員を募集します

防災行政無線

戸別受信機は、設置されていますか?

〔問〕 市民安全課(☎38-3111)



■戸別受信機本体の電源は、常に入れておきましょう。(音量調整や録音・再生機能を上手に利用しましょう)

■停電時には、乾電池を電源として、受信ができるようになっています。乾電池はこまめにチェックし、1年を目安に交換しましょう。(使い切った乾電池を入れたままにしておくと、液漏れが起き、機械が故障してしまいます)

現在、市では、防災行政無線を使って、災害関連情報や行政情報などの周知や広報を行っています。しかし、原則として、災害時やその他緊急時などの災害関連情報以外の行政情報は、屋内に設置された戸別受信機のみでの放送としています。また、戸別受信機には、放送された情報をいつでも受け取ることができるよう、録音・再生機能が装備されています。

戸別受信機の設置を希望する場合は、市民安全課へお問い合わせください。

第38回長崎県少年ソフトボール大会 雲仙市予選

多比良少年ソフト 市大会優勝

長崎県少年ソフトボール大会の雲仙市予選大会が、7月9日、愛野運動公園で行われ、市内14チームの参加で、熱戦が繰り広げられました。

決勝戦を制したのは、国見地区の多比良少年ソフトボールクラブ。市の代表として、8月27日、28日に時津町で行われた本戦に出場しました。



一丸となって優勝をつかみ取りました

国の重要伝統的建造物群保存地区の中核施設である、国の重要文化財旧鍋島家住宅の長屋門の棟上げ式が、8月10日に行われました。式では、関係者約20人が、ここまで工事が無事に進んだことへの感謝と、これからの工事の安全を祈願しました。

旧鍋島家住宅の修理工事は、平成21年6月に開始。長屋門は解体した後、来年夏ごろに復元工事が終わる予定です。また、隠居棟なども全解体復元修理などを行っており、すべて完了するのは平成25年夏ごろの予定です。工事中も、庭園の入場とアクリル板越しの工事見学ができます。



棟札を祭壇に祭り神事が執り行われました

旧鍋島家住宅長屋門棟上げ式

旧鍋島家住宅の長屋門 工事完了まであと1年

第36回交通安全子ども自転車大会

安全運転で神代小学校3連覇

交通ルールや自転車の安全な走行技術を競う交通安全子ども自転車大会が、7月27日に長崎市内で行われ、市立神代小学校が団体3連覇を果たしました。

出場校は神代小を含め23校で、筆記による学科試験と実技の安全走行、技能走行の3種目を各校4人の合計点数で競いました。

神代小は、交通安全指導員による指導の下練習に励み、団体3連覇のほか、個人の部でも1位から3位まで独占するという偉業を達成しました。

8月3日に東京都で行われた全国大会にも出場し、選手たちには貴重な経験となりました。

【選手】川原 大河、松本 慧、吉田 舞、松谷 加奈子、本村 麗奈、富田 直希



(右下から時計回りに)川原くん、松本さん、吉田さん、松谷さん、本村さん、富田くん

新空手 K-4 福岡大会

松本悠我くん 組み手の部優勝

7月31日、福岡県の小郡市小郡体育館で新空手 K-4 福岡大会が行われ、九州各地から選手たちが集結しました。

そんな中、5・6年生組み手の部に出場した松本悠我くん(神代小学校6年)は、練習で培った力を発揮し、見事優勝。今後の活躍が期待されます。



賞状とカップを手にする松本くん



平成23年度雲仙市体育協会表彰式

スポーツ活動やスポーツの普及と発展に貢献

7月23日、雲仙市体育協会表彰式が行われ、21人と4つの団体が表彰を受けました。

この表彰は、スポーツ活動やスポーツの普及と発展に特に貢献した個人や団体を表彰するもので、当日行われた第6回雲仙市民スポーツ大会総合開会式の中で行われました。

受賞者は次の皆さんです。(敬称略)



受賞者の皆さん

【社会体育優良団体】

- 雲仙市バレーボール協会
- 雲仙市ゲートボール協会

【社会体育功労者】

- 佐々木智子(市家庭婦人バレーボール連盟会長・市バレーボール協会理事)
- 前川 英克(市剣道協会理事)
- 鶴崎 澄孝(市軟式野球連盟理事)

【スポーツ優秀団体】

- 雲仙市ソフトテニス連盟国見支部
- 雲仙市ゲートボールチーム

【スポーツ優秀選手】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 竹田 光樹(剣道競技) | 山本 章博(サッカー競技) |
| 七條 貴哉(剣道競技) | 崎原 聖也(サッカー競技) |
| 山本 杏里(剣道競技) | 池上 丈二(サッカー競技) |
| 大久保広翼(陸上競技) | 橋野 凌太(サッカー競技) |
| 渡部 愛理(陸上競技) | 植木 総司(サッカー競技) |
| 秋山 千尋(ソフトボール競技) | 高谷 伸(アーチェリー競技) |
| 内田 将徳(レスリング競技) | 鎌田 翔一(ボクシング競技) |
| 平山 優樹(サッカー競技) | 井手上敦貴(ボクシング競技) |
| 堀川 純一(サッカー競技) | 松山 知史(バレーボール競技) |

ふるさと納税

ご寄付 ありがとうございます

7月中に寄付をいただいた皆さま
(承諾していただいた項目のみ掲載)

氏名(敬称略)	住所	出身地	金額
岩永 節夫	東京都	瑞穂町	20,000円
木村 昭子	東京都	吾妻町	
峯 正澄	兵庫県	瑞穂町	
草野 清一	茨城県	吾妻町	
藤田 信夫	千葉県	吾妻町	

平成23年度の合計(7月末現在)

件数	9件
金額	306,000円

ふるさと雲仙市の応援団を
募集しています

「雲仙市を応援したい」「雲仙市のために何かしたい」という想いを、ふるさと納税(寄付金)という形でお寄せいただいています。

このような想いを持たれた市外在住のご子息、ご令嬢、兄弟、姉妹、親族、友人、知人をご紹介ください。

問い合わせ・申し込み

政策企画課 地域振興班(ふるさと応援寄付担当)
☎38-3111 FAX38-3514
ホームページ <http://www.city.unzen.nagasaki.jp>